

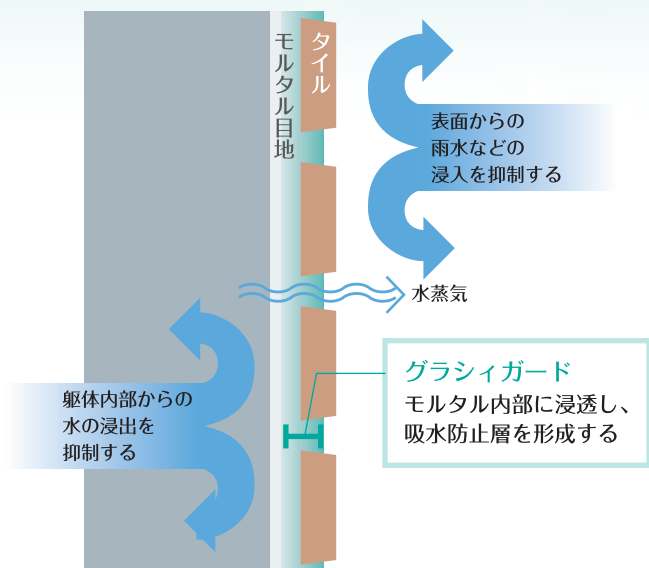


# グラシィガード®

## GLASSY GUARD

グラシィガードは浸透性の高い特殊樹脂を使用することで、被塗物の表面に塗膜を形成せずモルタル目地内部に吸水防止層を形成します。そのため、タイルの風合いと意匠性をほとんど損なうことなく、凍害やエフロレッセンスなどの劣化要因を抑制し、外壁をまもることができます。

### 施工イメージ



### 浸透性

モルタル目地内部に深く浸透し、強力な吸水防止層を形成します。

### 吸水防止性

吸水防止層がモルタル目地部から内部への水の浸入を抑制します。



グラシィガード未塗付



グラシィガード塗付

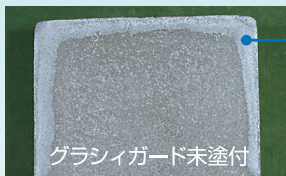
※モルタル板基材全面にグラシィガードを塗付したものと塗付していないものを、側面の半分まで水に浸漬し、それぞれ断面を撮影

### 凍害やエフロレッセンスなどの抑制

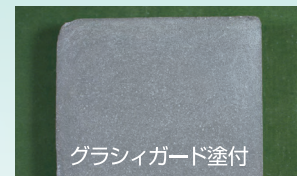
吸水防止層が外部および躯体内部からの水の移動を抑制することで、凍害、塩害やエフロレッセンスに対してすぐれた効果を発揮します。

#### エフロレッセンス(白華) 抑制機能

吸水防止層が躯体内部からのエフロレッセンスの発生を抑制します。



グラシィガード未塗付

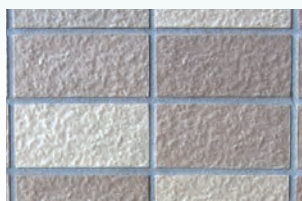


グラシィガード塗付

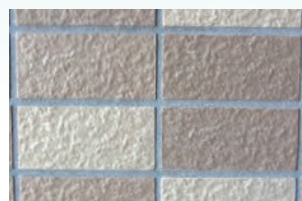
※モルタル板基材表面にグラシィガードを塗付し、裏面を下にして、側面の半分まで5日間硫酸ナトリウム水溶液に浸漬し乾燥後の表面状態を確認。(社内試験法)

### 意匠性維持

吸水防止層は被膜を形成しないので、意匠性を損ないません。



塗装前



塗装後

### 通気性・透湿性

躯体本来の通気性を保持し、透湿機能にすぐれています。

### 高耐久性

長期にわたり吸水防止効果を持続します。

### 作業性

乾燥が速く、作業性にすぐれています。

## 標準塗装仕様

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地処理	タイル面を補修したのち水洗いをし、十分乾燥させてください。 エポキシ注入材によるよごれは変色するおそれがありますので溶剤などで完全に除去してください。 エプロレッセンスはスクレーパー、ワイヤブラシなどで削り落とす除去してください。 酸性洗浄剤などを用いる場合は、洗浄剤塗付前、タイル面に十分に水を含ませてください。(事前に水を含ませることで洗浄剤による塗膜への悪影響を抑えます。)洗浄後は十分に水洗いし、乾燥してください。 その後、pH試験紙などを用い塗装面が中性であることを確認してから塗装してください。(pH6~8)						
上塗り	ニッペグラシガード	2	0.06~0.10	30分~2時間以内	無希釈	—	はけ、ウールローラー

※タイルの種類および目地の形状などにより、使用量が変わりやすいため、事前に試験塗装を行い使用量を決定してください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載しています。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談ください。

※塗付もれ・塗りむらの確認が必要な場合は、塗付後48時間後に水かけテストを行い30秒から1分以内に目地に濡れ色ができないことを確認してください。ただし、特に吸い込み量が大い目地の場合は、吸水防止層が目地内部で形成され、塗装したにもかかわらず、部分的に濡れ色になることがあります。

## 性能試験結果

日本建築学会

鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・同解説 浸透性吸水防止材の品質基準

項目	規格	結果	
塗布後の外観	変化が無いこと	合格	
浸透深さ(mm)	1.0以上	合格	
吸水性	標準時	吸水比 0.10以下	合格
	耐アルカリ性試験後	吸水比 0.10以下	合格
	温冷繰返し作用に対する抵抗性試験後	吸水比 0.10以下	合格
	促進耐候性試験後	吸水比 0.20以下	合格
透水性	透水比 0.10以下	合格	
塩化物イオン浸透性(mm)	3.0以下	合格	

※結果は、グラシガードの品質を保証するものではありません。

## 容量

12.8kg(石油缶)

## 用途・適用基材

陶磁器タイルおよびモルタル目地部

※タイル面専用の製品ですが、パール調、施釉、鏡面において変色の可能性があります。変色の問題を防ぐために事前に必ず試験塗装を実施してください。

※ラスタータイル面、親水性を付与しているタイル(光触媒など)の施工は避けてください。

※ラスタータイル面の施工は色相が変わるおそれがありますので、使用を避けてください。また、親水性を付与しているタイル(光触媒など)の施工は、親水性を損ないますので使用を避けてください。

※タイルの種類により風合い変色が発生するおそれがあります。事前に必ず試し塗りを実施し6時間以上たった後のタイル表面を確認して変色の有無を確認してください。

## 施工上の注意事項

詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 塗装面が乾燥すると未塗装面との区別が付きにくくなりますので、未塗装箇所が残るのを避けるため、ひとつのブロック毎に中断することなく連続して塗装してください。
- 被塗面の洗浄やエプロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残ったまま本品を塗装すると白化、性能不良を起こすおそれがあります。水洗い後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定し、中性であることを確認してください。(pH6~8)
- 素地表面の含水率は10%以下(ケツト科学社製CH-2型の場合)、または5%以下(ケツト科学社製H500シリーズの場合)の条件で塗装してください。
- 下地表面に付着した汚れ、粉化物、さびなどは除去し、離型剤油膜類などが付着している場合は、ラッカーシンナー・各種工具などで除去してください。また水洗いする場合は十分に乾燥してください。
- 目地に残留する金属類(鉄筋、セパレーター、番線、釘など)は除去してください。
- 目地の不陸、目違い、ピンホール、欠損などはモルタル補修材で処理してください。(目地モルタルメーカー、補修材メーカーの標準養生時間を厳守してください)
- むらなく均一に浸透させるためには一度に厚塗りはせず、2回に分けて塗装してください。
- 溶剤が完全に気化する前に塗付面が水分に触れることは避けてください。養生時間の目安は、20℃:6時間以上、10℃:24時間以上、5℃:48時間以上です。(養生期間内に雨水などがかかると白化や性能不良を引き起こす原因となる場合がありますので十分に注意してください。)
- タイルおよび目地の種類により、塗付量が異なりますので試し塗りで塗付量を決定してください。
- 吸水防止性の確認は、施工完了した塗付面(20℃、48時間以上の乾燥養生後)に、霧吹きなどで水をかけ、30秒から1分以内に濡れ色にならないことを確認してください。塗付もれのところは乾燥後、再度塗装してください。
- 希釈せずそのまま使用してください。
- 塗装面以外(ガラスなど)に付着した場合、速やかにシンナーなどで拭き取ってください。(乾燥すると除去できない場合があります)
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- 塗装場所の気温が5℃未満、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ローラー、ハケなどは、ほかの塗料での塗装に使用するとノジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でください。
- 本商品塗装部分周辺に、防水や塗装工事を行う箇所がある場合、施工前の下地に本商品が付着すると、防水や塗膜の付着不良が発生するおそれがありますので、本商品の塗装は必ず仕上げ工事の最後に行ってください。
- 本品のスプレーによる塗装は避けてください。スプレー噴霧粒子を吸い込むと、嘔吐・呼吸困難・肺障害などの症状が出る場合があります。

## 安全衛生上の注意事項(ニッペグラシガード)

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。
- 容器を密封しておいてください。
- 容器を接地/アースをとってください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生させない工具を使用してください。
- 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください
- 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
- 口をすずいでください。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 漏出物を回収してください。
- 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。
- 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- 皮膚刺激を生じた場合:医師の診断/手当てを受けてください。
- 眼の刺激が強く場合:医師の診断/手当てを受けてください。
- 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
- 火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。
- 施錠して保管してください。
- 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
- 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗料を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- 容器、塗料などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込めば、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■ 詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警告	危険有害性情報
	引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/水生生物に非常に強い毒性/長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
 東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180  
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
 中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- © Copyright 2019 NIPPON PAINT Co., LTD. All rights reserved.
- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 「グラン」登録第4224140号は、日本ペイント株式会社が権利者の登録商標です。
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
 NP-X028  
 TY190503T  
 2019年5月現在